

# サイコロ

ISHIKAWA MERIYASU MAGAZINE

Special Feature

## “ 無縫製の価値と未来 ”



### Column

無縫製ってどういうこと？

### News

2021 秋冬新商品 『ふわもこラブヒール』



1.

## ホールニット WHOLE KNIT® プロジェクト始動

完全無縫製の肌着に特化した新ブランドを立ち上げる——。石川メリヤスがこの決断をしたきっかけはコロナ禍での商品開発でした。以前に試作したニットマスクが「肌に優しい」「長時間身に着けていても気持ちいい」ことが改めて分かったのです。改良を重ねて昨春に発表。8か月間で2万枚以上(OEM生産分を含む)を販売し、現在も売れ続けているヒット商品です。

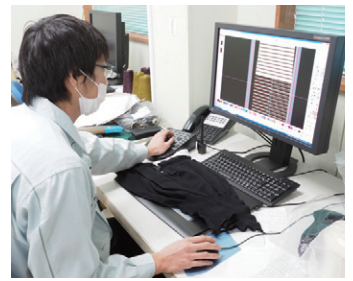
全自動で編み立てているのは島精機製作所のホールガーメント®横編機(SWG)。どんな形の製品でも丸ごと立体的に自動で編み上げられる世界最先端の編み機です。ただし、この超高機能マシンを使って価値ある商

品を作り出せるか否かは私たち人間にかかっています。

ニットマスクの生産と販売を通して、石川メリヤスにとってのホールガーメントの意味は「着け心地」の追求だと認識。そして、以前に商標登録をしておいた「WHOLE KNIT(ホールニット)」をブランド名として、以下の3箇条に沿った商品群を作ることになりました。

- ・肌に直接触れる商品である
- ・完全無縫製である
- ・縫わないことがメリットとなる

図らずもWHOLE KNITの第一弾となったニットマスクに続き、ニットの腹巻パンツを開発することにしました。3箇条を守りつつ、「自分たちが消費者として納得できるもの」で「他社商品に比べて優れている点がある」



2.



3.



4.

商品開発を目指しました。ずっと身に着けていても苦しくなく、肌に優しくて、薄くて軽くて暖かく、洗濯も簡単で何でも使える、腹巻機能を兼ねたニットパンツを作るのです。

お腹をどこまでカバーするのか、パンツの前と後ろがわかる印をどこにどのように付けるとわかりやすいのか。女性の幹部社員を中心に徹底的に話し合いました。

お尻のふくらみにあわせて形状にしたり、太ももからヒザにかけて徐々に細くしたり。立体成形が自在にできるホールガーメントの性能をフルに使って、女性の体形に合わせた製品となるように試作を重ねました。

素材の選定も重要です。ようやく出会えた素材が、ニットのプリーツマスクの改良中に見つけたウズベキ

1. 完全無縫製の「ニットの腹巻パンツ」。  
肌に優しくフィットして体を温める  
チクチクせず、優しい着け心地でお腹と鼠<sup>そね</sup>径部(太ももの付け根)をしっかりと温められる。「毛糸のパンツ」のように着ぶくれしない。

2. WHOLE KNIT 生産の要である  
磯村圭祐工場長

ホールガーメントのデータ作成室。工場長の磯村をはじめ、島精機で研修を受けた社員はオリジナル商品のデータを作ることができる。

3. 石川メリヤスが独自開発した  
ニットマスク

生地に凹凸が出る編み方を取り入れたことで、息が吸いやすく、上下の大きさも調整できる。  
ブリーツ型構造は意匠登録済(登録第1676606号)。

4. 2020年9月に開いた「ニットの腹巻パンツ」開発会議

少しでも使い勝手が良く、履き心地のいい商品の開発が目標。女性幹部が中心となり、細かなことも忌憚なく話し合った。

ホールガーメントは  
株式会社島精機製作所の登録商標です。

スタン産のオーガニックコットン。毛羽立ちを抑えた特殊な紡績方法によってできた糸は、肌に優しいという利点の他に毛羽がない分だけ生地がボリュームが抑えられるというメリットもありました。シルクに比べると価格もお手ごろです。

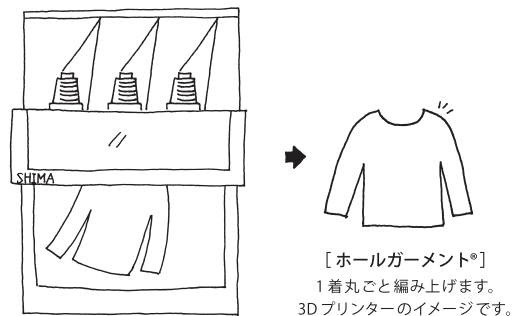
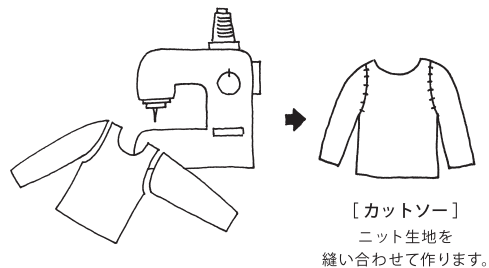
石川メリヤスは女性が多い会社のため、全員にサンプル品を配って意見を募集。ホールガーメントを動かす生産担当社員の努力もあり、納得のいく商品を作ることができました。身に着けた感想として「こんなに気持ちいいならキャミソールも作りたい！」などの声が社内で早くも上がっています。

WHOLE KNIT を多くの人に使っていただけるブランドにするために、これからも石川メリヤスの社員は一人丸となって精進していくつもりです。

## 無縫製って どういうこと？

Tシャツなどのニット製品は「カットソー」と呼ばれます。前身頃、後身頃、袖などパーツごとに作った編み物を切って(cut)、ミシンもしくは人の手によって縫い合わされて(sewn)作られています。一方、島精機製作所ホールガーメント(「無縫製」という意味)は、縫製工程が生じません。デジタル制御で編み機の針を動かし、立体的な製品を自由自在に縫い上げることができる機械なのです。一筆書きで作られたニット製品をイメージするとわかりやすいかもしれません。

この画期的な機械の利用方法は世界中で研究されています。「縫い代がない」という特長を生かし、宇宙服や自動車、航空機への活用も検討されているようです。石川メリヤスをもっと身近なものに着目しました。それが肌着です。縫い目がないために段差が生じず、肌にあとがついたりかゆみを生じさせたりしにくいこと、伸縮性にも優れているため着心地が良いこと。これらのホールガーメントの利点は「肌に直接触れる商品」の開発に向いています。そして、このたび「WHOLE KNIT」ブランドを始めました。



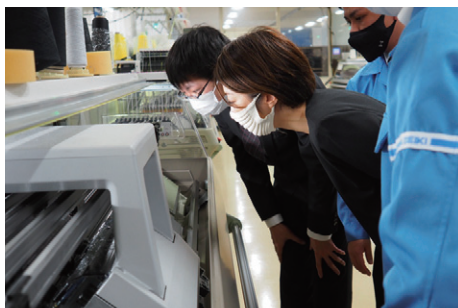
## News

### ニットシューズ生産の本格化に向けて N.SVR093SPを導入しました

現在、ニットアッパーがランニングシューズやスニーカーの主流になりつつあります。軽さだけでなく、通気性の高さやフィット感などの機能性が高く評価されているのです。

ニットアッパーの生産に適しているのが島精機製作所の成型編み機 N.SVR093SPです。3Dの生地を自由自在に作れるホールガーメントと違って、SVRは2D生地を効率よく生産できます。革靴を作るときと同じく、アッパーを木型に合わせる「つり込み」作業を経てシューズになるのです。

N.SVR093SPのもう一つの特長は、編みと織りを融合させた生地の編成ができること。織物の横糸のように糸の挿入ができ、様々な意匠系（装飾的な外観を持たせた糸）も入れられるため、機能性だけでなくファッション性の追求も可能です。石川メリヤスはこの成型編み機の導入によってニットアッパーの受注生産を本格化していきます。



島精機製作所の和歌山本社にて。  
社長の犬宮と工場長の磯村が説明を受けて導入を決めました

### Editorial Note

プロ向け作業用手袋を祖業とする石川メリヤスは、機能性に優れた製品の開発・生産に長年携ってきました。紡績工場や染色工場とのつながりも深く、まだ市場に出回っていない素材も常に探求しています。自分たちが使いたい商品の開発を基本とし、消費者目線でのモノづくりも得意です。

機能性追求、新素材開発、そして消費者目線。この3つが石川メリヤスの強みだと再認識しています。本紙で紹介したオリジナル商品はその一例ですが、主力は多品種小ロットで対応できるOEM生産です。お気軽にお声がけください。(犬宮裕美)

### 【2021 秋冬新商品】

#### 履き口ゆったり『ふわもこラブヒール』

空気をたっぷり含んで断熱効果のある外生地。セラミックを練り込んだ特殊糸で遠赤外線の温熱効果を得られる内生地。カカト部分には保湿シート。それらを重ねて縫い合わせてある機能性靴下が『ラブヒール®』です。履いているだけで暖かく、カカトをすべすべにしてくれます。つま先付近に縫い目がない横編み機で作っているため、足を入れたときのごろつきや違和感がありません。

このラブヒールの履き口を長く薄くすることで、履きやすく肌当たりが優しい靴下を新たに開発しました。履き口はかつて流行したルーズソックスからの着想。「ふわもこ」にすることで、履きやすく柔らかいレッグウォーマー機能付きの温潤靴下が完成しました。履き口と靴下部分の色を変えたところ若い層からも「可愛い」と好評を博しています。今冬のおうち時間の足元はこの靴下でぬくぬく快適です。



左から定番色のミックスグレー×ブラック、マシュマロピンク×グレー、ベージュホワイト×ブラウン。他に限定色も有り。

### Credit

編集・執筆・発行 石川メリヤス株式会社  
Art direction & Design 相田貴子 (Consulting Design Tokyo 以下 CDT)  
撮影 石川メリヤス株式会社、CDT

2021年5月発行

### 冊子名『サイコロ』とは

「メーカーの基本は何よりも品質」。  
初代社長の想いが込められた創業以来の作業用手袋「サイコロ印」のブランド名から名付けました。  
本冊子では、この精神を守りつつ、石川メリヤスの「いま」をお伝えします。

商品問い合わせ&注文先

### 石川メリヤス株式会社

〒444-0515 愛知県西尾市吉良町富好新田紺屋堀 27-2  
TEL 0563-32-0420 FAX 0563-32-3066  
E-mail info@ishimeri.com URL https://ishimeri.com